

放送ライブラリー公開番組＜山田洋次さん関連のテレビ番組＞

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	ジャンル	内容
000654	男はつらいよ〔1〕	フジテレビジョン 40分 1968/10/3	ドラマ	長い間行方不明で、もう顔さえ覚えていない兄・寅次郎(渥美清)が、ある日ひょっこり家に舞い戻ってきた。さくら(長山藍子)は最近婚約したばかりで、ようやく幸福をつかもうとしていただけに、正直なところ寅次郎の出現は迷惑であった。◆最終回で死ぬはずだった寅次郎だが、視聴者の延命嘆願によって生死不明に変更。スクリーンによみがえった。脚本:山田洋次。(1969年3月27日終了、全13回)
000862	東芝日曜劇場 父	東京放送 47分 1971/5/9	ドラマ	父と娘の間の相克と、切っても切れない肉親の愛情をテーマに描くドラマ。◆独立して生活している娘冬子(倍賞千恵子)を、ある日突然父(松村達雄)が訪ねて来る。酒のみでぐうたらな父を冬子は幼いころから憎んでいた。冬子は二度と来ないよう、冷たく言い渡して父を追い帰した。数日後、父は「人生に別れを告げる」という書き置きを残して家出した…。脚本:山田洋次。
012277	東芝日曜劇場 初恋	北海道放送 50分 1971/11/28	ドラマ	ツルゲーネフの「初恋」に想を得て、夏の北海道を舞台にひとりの青年の愛と認識の出發を描く。◆浪人生の真は、親の反対を押し切って叔父の関係する北海道・日高の牧場に働きに行くことを決めた。牧場の美しい娘・葉子に一目で恋に落ちる真。しかし葉子は真の叔父を愛していた。脚本:山田洋次。
012278	東芝日曜劇場 わが街 東芝日曜劇場八〇〇回記念番組	北海道放送 50分 1972/4/16	ドラマ	ジェイムス・ジョイスの詩に寄せて、小樽に住む心やさしき人々を描く。◆大学教授の鳴海と行きつけの喫茶店主おゆき。店にはアイルランド民謡が流れ、古き良き時代がそこにある。小樽を出て行かなければならなくなった若い春子と竜太に、おゆきは小樽を捨てられなかった思い出を語る。しかし春子は、出て行ったらもっと幸せになっていたかもしれないじゃないと言い、竜太と共に小樽を出て行くと告げる。脚本:山田洋次。
001044	東芝日曜劇場 幼なじみ	北海道放送 48分 1974/3/10	ドラマ	冬の小樽を舞台に、裁判所に勤めながら教会の合唱隊の指導者をしている健作(米倉斉加年)と、生まれ故郷のニセコから小樽に出て来た幸子(音無美紀子)がコーラスを通して知り合い、結ばれるまでを描く。脚本:山田洋次。
003662	BSNダイナミックサタデー ようこそ寅さん 越佐路ロケ帳	新潟放送 44分 1983/6/18	ドキュメンタリー	松竹映画「男はつらいよ」シリーズの撮影が、初夏の越佐路で行われた。新潟県醸造試験場の場長で酒の研究者として知られる嶋悌司さんが山田洋次監督に出した“寅さんの目でふるさと新潟のよさを見直してみたい”という一通の手紙がきっかけだった。ロケの様子とともに周辺の自然と暮らしを描きつつ、嶋さんの期待を映像化する。
002761	東芝日曜劇場 ぼくの椿姫	北海道放送 48分 1985/3/17	ドラマ	北海道登別温泉を舞台に、オペラがとりもつタクシーの運転手と芸者のラブロマンスを描く。◆福太郎は「オペラ」とあだ名がつくほどオペラが大好きな個人タクシーの運転手。2人の子供と3人で暮らしている。福太郎は、組合の忘年会で彼のためにとオペラの「乾杯の歌」を歌ってくれた、どこか勝ち気で目元のすずしい温泉芸者と親しくなる。脚本:山田洋次。
005378	泣いてたまるか〔1〕 花嫁のお父ちゃん	東京放送47分 1986/10/21	ドラマ	西田敏行がさまざまな職業の男に扮し、男の切なさ悲しさを描く一話完結のシリーズ。(1987年1月20日終了、全12回)◆第1話は大工の親方・健一。19歳の娘・友美の結婚が決まった。健一から見ればまだ19の娘。なぜこんなに早く嫁に行くのかと、健一は式の前夜に深酒して荒れる。翌朝二日酔いの健一は結婚式に出ないと言いだし、妻の幸枝を困らせる。脚本:山田洋次。

放送ライブラリー公開番組＜山田洋次さん関連のテレビ番組＞

番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	ジャンル	内容
009482	遙かなるわが町	東京放送 95分 1990/3/12	ドラマ	1973年(昭和48)4月13日から13回連続で放送した「遥かなるわが町」を2時間ドラマにリメイク。都会で傷ついた娘と孫を迎える老教授と周りの人々との交流を温かく描く。◆イベントプランナーの瑛子は離婚して12歳の息子・邦彦と二人暮らし。仕事のトラブルで海外に行くことになったが、邦彦を預かってくれる人がおらず、仕方なしに小樽に住む父・冬彦に頼む。瑛子は20年前に自分と母を捨てた父を許していなかったが、孫の顔はいつか見せてやろうと思っていた。冬吉は大学教授だったが、今は引退してやもめ暮らし。友人の王と同居し、弟子の二階堂や近所の娘・さつきらが出入りする。邦彦を預けると瑛子はすぐに東京に戻り、冬吉は王らの助けを借りて孫と打ち解けようとする。しかし、都会育ちの邦彦は全く心を開こうとしない。脚本:山田洋次。
003766	月曜ドラマスペシャル山田洋次特別企画 北の夢	北海道放送 94分 1992/3/9	ドラマ	厳しい現実を受け入れながら懸命に生きる人間の姿を北海道の風景を背景に描く。◆夫に蒸発され、義父と小学生の息子を抱え牧場を切り盛りする幸子。トラックにミニSLを積んで障害者の兄と2人で全国をまわる洪次。偶然幸子の牧場で一夜の休息をとった洪次たちは、10日の間この牧場で働くことになった。純朴な兄弟に幸子は次第に心を開き、いつしか洪次との間には愛が芽生える。だが厳しい現実には2人の愛を阻み、また元の生活が戻ってくる。2人にとってこの10日間は夢のような日々だった。脚本:山田洋次
005892	花王ファミリースペシャル 俳優笠智衆・泣くな笑うなしゃべるな88年	関西テレビ放送 54分 1992/11/29	ドキュメンタリー	一貫して「日本の家族」を演じてきた俳優・笠智衆。彼と家族にスポットを当て、現代における「家族」とそのぬくもりをテーマに彼の魅力と仕事に打ち込む姿を紹介する。
006720	川の流れに 満鉄・父たちの青春	テレビ西日本 65分 1994/9/24	ドキュメンタリー	1906年から39年間、日本の大陸進出に大きな役割を果たした「満鉄」。このため満鉄については、これまで多くを語られることはなかった。山田洋次監督、加藤登紀子、岩波ホール支配人の高野悦子さんが、満鉄で青春を過ごした父の人生を振り返る。
011363	山田洋次ドラマ特別企画 サスペンス喜劇 瓜二つ	北海道放送 98分 2002/2/25	ドラマ	「人は信頼されることでかわっていく」をテーマに、西田敏之が自己破産者と暴力団組長の二役を演じるドラマ。◆瓜生辰(うりふたつ)は札幌を本拠とする瓜生組の組長。短気で多額の借金もあり、組は落ち目だ。出所すると、残っていたのは若頭の石松、そっかしいハコ、一人息子のPだけだった。辰は、死んで保険金でみんなをカタギにすると言う。そんなとき、Pが思いを寄せる由香とその母が営む営む喫茶店に、辰と瓜二つの赤野太人(あかのたにん)が現れる。辰らは太人を替え玉に、保険金をせしめようとする。脚本:山田洋次。
013593	銀幕のイーハトーヴ 岩手・映画の大地	岩手朝日テレビ 47分 2003/3/4	ドキュメンタリー	過去、幾多の名作映画の舞台となってきた岩手県。岩手でロケされた映画作品を振り返りながら、その撮影に関わった人々の証言や思い出話を集め、「映画」という存在が人々の心に残した足跡をたどる。◆岩手県盛岡にはその名も「映画館通り」という通りがある。映画を愛する岩手県人、映画人に愛される岩手県。映画人へのインタビューをふんだんに盛り込む。映画撮影を支援する“フィルムコミッション”が全国に誕生する中、単なる町おこし事業に終わらないことが映画人からも期待されている。